

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

総合学術高等研究院 造船海洋ルネサンス国際連携センター 開所記念式を挙行

国立大学法人横浜国立大学(学長:梅原 出)は、「造船海洋ルネサンス国際連携センター」(Shipbuilding & Ocean Renaissance International Center : SORIC)の開所記念式を8月19日に執り行いました。

本センターは「造船業の再生」と「海洋への挑戦」という2つの国家課題に対して、船舶海洋工学の基礎分野を中核としつつ、造船・海洋分野における教育研究機能を体系的に強化し、分野横断的かつ国際連携型の拠点を形成することを目的として2026年6月に設置しています。

造船海洋ルネサンス国際連携センター(センター長:満行泰河)

本学は神奈川・横浜という海事・港湾・産業集積地に立地し、産官学が近接する環境を活かして技術・制度・産業を統合的に扱う拠点形成が可能となっています。これらの強みを基盤として、本学における造船・海洋分野の教育研究機能を体系的に強化し、全学的な拠点として発展させるため、「造船海洋ルネサンス国際連携センター」を設置しました。

本センターは4つのラボから成り、船舶海洋工学の基礎分野を中核としつつ、造船業界および国内外の関係機関と連携し、先端技術の研究開発と実践教育を一体的に推進することで、海洋立国日本の未来を支える次世代の船舶・海洋システムと産業基盤の創出を目指します。

■ 海事産業戦略・国際連携ラボ

Maritime Strategy & Global Partnerships Lab

海事分野における国際連携を主導し、制度設計・標準化・産業政策の形成を実務的に支援する。技術・企業活動・国際ルールを接続し、日本の造船・海事産業の競争力強化を戦略的に支える。

■ 先端造船技術・人材育成ラボ

Advanced Shipbuilding Technology & Talent Development Lab

船舶海洋工学の基礎分野を中核とし、造船業界と連携して先端技術の研究開発と実践教育を一体的に推進する。学部・大学院教育と社会人リスキリングを接続し、次世代造船人材を育成するエコシステムを構築する。

■ 海洋利用・産業創出ラボ

Blue Economy & Ocean Innovation Lab

洋上風力や海洋エネルギー等を対象に、海洋利用の統合設計と実証を推進する。神奈川・横浜を起点に、海洋を基盤とする新たな産業の創出と持続可能な事業モデルの確立を推進する。

■ 次世代造船DXシステムラボ

Next-Generation Shipbuilding Systems Lab

ロボット・AI・DX・サイバーセキュリティ及びデジタルツイン技術を活用し、造船システムの高度化と自動化を推進する。デジタル技術により製品価値と生産性を飛躍的に向上させるとともに、建造量の拡大とリードタイム短縮を実現し、造船業の競争力強化を図る。

造船海洋ルネサンス国際連携センター URL: <https://soric.ynu.ac.jp/>



国土交通省今井審議官からの祝辞



向かって左から満行泰河センター長、大和裕幸JOGMEC特命参与、穂積克宏神奈川県科学技術担当部長、今井新国土交通省技術審議官、梅原出学長、平原敏英横浜市副市長、笹岡愛美副センター長

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 総合学術高等研究院 藤井、今西

TEL045-339-4439 FAX045-339-4280 E-mail:ias-ims@ynu.ac.jp